



冬季カンパのお願い



こんにちは。ピースデポへの日ごろの温かいご支援、ご協力に感謝いたします。今年も残りわずかとなりましたが、日本では新型コロナ禍がやや落ち着いた状態で年を越せそうですが、皆さま忙しい毎日をお過ごしのこととお察しします。

2021年は核軍縮にとって画期的な年でした。1月に核兵器禁止条約が発効し、NPTと並行して2つのトラックで核軍縮の取り組みが進むことになりました。そして来年1月、第10回NPT再検討会議がニューヨーク国連本部で、3月には核兵器禁止条約の第1回締約国会議が開催されます。こうした中で、ピースデポは、来年以降も核軍縮や安全保障に関して情報の収集・分析に努力すべく、今年は、主に以下の活動に取り組みました。

◆日本政府に「北東アジア非核兵器地帯」構想の真剣な検討を求める要請を行いました。

2月4日、ピースデポは他の20の市民団体と共に要請書を日本政府にオンラインで提出しました。また、これまでの監視報告をテーマ別に分類した冊子「監視報告集 2018.11～2021.1」を同時に日本政府に提出しました。

◆「脱軍備・平和レポート」を第7号から12号まで発行し、年鑑『ピース・アルマナック2021』を刊行しました。

若手スタッフを編集長として創刊した『脱軍備・平和レポート』は隔月で第12号まで発行しました。また年鑑『ピース・アルマナック2021』は、去年に続いて核軍縮・不拡散、北東アジア地域的非核化等に加え、今後の世界平和にとって重要な通常兵器、とりわけロボット兵器や宇宙兵器についても扱い、刊行しました。

◆次世代基金の基軸事業として、今年から脱軍備・平和基礎講座を開設し、5月23日の第1回を皮切りに約30名弱での講義を第6回まで行いました。

◆「非核化合意・監視履行プロジェクト」は3周年を迎えました。

18年11月に「北東アジア非核兵器地帯へ：朝鮮半島非核化合意の公正な履行に関する市民の監視活動（略称：非核化合意履行・監視プロジェクト）」を立ち上げてから3年が経ちました。これまでに1号から34号までの「監視報告」を日本語で発行しました。英語版は32号、韓国語版は34号まで出ています。

こうした活動を支える財政基盤は依然として不十分で不安定な状態が続いています。加えて今年も、懸案であったウェブ整備のための外注費や人件費増、機器リース料の増加なども重なり、予想より支出が増えることとなりました。この現状に鑑み、毎年のご恐縮ですが、本日は、冬季カンパとして皆さまからの更なるご支援をお願いする次第です。よろしくお願ひ致します。

目標金額：30万円

郵便振替：00250-1-41182「特定非営利活動法人ピースデポ」
通信欄に「冬季カンパ」と明記をお願いします（同封の郵便振替用紙をご利用ください）。

銀行：横浜銀行 日吉支店（普通）1561710「特定非営利活動法人ピースデポ」
振込の入力画面でお名前の前に「カンパ」と記入をお願いします。

◎別の方法として、「よこはま夢ファンド」を活用してピースデポに寄付をすることができます。この方法では、寄付相当額（自己負担分の約2千円を除く）が税金から減額されます。これについては、別の機会に詳しくご紹介します。

2021年12月

NPO 法人ピースデポ

代表 湯浅一郎

〒223-0062 横浜市港北区日吉本町1-30-27-4 日吉グリーネ1F

Tel: 045-563-5101 / Fax: 045-563-9907 / E-mail: office@peacedepot.org

Website: <http://www.peacedepot.org> / Facebook: <https://www.facebook.com/peacedepot.org>

